

2008 年度

科目名 社会調査法 A	対象学科・学年 人間人社 2 回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 社会現象を科学的に探求する		
授業の概要と目標 様々な社会調査について紹介し、そのなかの質問紙調査に焦点を当て、テーマの設定、調査項目の正しい作り方を解説する。これに合わせて、受講生は自分なりの問題提起をして、調査を企画する。また社会調査の重要な考え方である、母集団と標本、ランダムサンプリングについて解説し、最後に報告書の書き方、留意点についても解説する。		
評価方法 出席（30％）＋レポート（30％）＋筆記テスト（60％）		
テキスト 実務入門 図解アンケート調査と統計解析がわかる本	著者 酒井 隆	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 社会調査とは何か（1） 社会調査としての3つの条件 2. 社会調査とは何か（2） いろいろな社会調査 3. 社会調査の設計（1） 調査プロセスと調査企画 4. 社会調査の設計（2） 調査問題、理論仮説、作業仮説 5. 調査票の作成（1） 調査項目の作成 6. 調査票の作成（2） ワーディング 7. サンプリング（1） 母集団と標本 8. サンプリング（2） ランダムサンプリング 9. サンプリング（3） 標本数の決定 10. 様々な調査方法（1） 面接調査の実際 11. 様々な調査方法（2） 郵送調査法、電話調査法など 12. データの整理（1） 調査票の点検、コーディング 13. データの整理（2） 結果の分析 14. 報告書の作成（1） 報告書概観 15. 報告書の作成（2） 調査全体の考察		